

# JC Hamamatsu wave

HAMAMATSU JC 広報マガジン

[はままつJCウェーブ]

ホームページもぜひご覧ください! <http://www.hamamatsujc.jp/>

## 新春対談

浜松市長

**浜松JC  
北脇保之氏 & 後藤明理事長**

## 2007年度組織紹介

こんな活動をしています。

自分たちの街をもっと楽しもう!

私たちがメンバーです。

浜松JC活動報告

イベント情報&amp;グルメ

JCのなかま



はままつ  
季節のしおり  
「春-SPRING-」



春の桜まつり&amp;チューリップフェア3月24日~ はままつフラワーパークにて（夜桜開園をお楽しみいただけます。）



# 開催事業案内

浜松JCの活動記録です。

## 2007年度 新年式典・祝賀会 | 1月7日(日) グランドホテル浜松にて

各界から約300名の皆様にお越しいただき盛大に会が催されました。

今回は式典・祝賀会の2部としそれぞれ情報発信委員会と涉外委員会が担当し、式典の部では後藤理事長の挨拶、来賓のご祝辞に統いて、2007年度浜松JCの運営方針を各常任理事7名によりパワーポイント資料を使用し発表会が行われました。

祝賀会の部ではオープニングで(財)浜松交響楽団の皆様による演奏でお迎えし、北野浜松市長様・中山浜松商工会議所会頭様・渡邊東海地区長様・小野静岡ブロック長様により鏡割りが行われた後のお談話では、皆様懇親を深めていただきました。



## 二十歳の献血 | 1月8日(祝) 浜松駅前にて

1月8日(月)成人の日にちなみ「二十歳の献血」活動が浜松駅北口横で実施されました。

寒い中、入会希望者10名ほどのメンバーが朝9時半の設営から17時の片づけまで自主的に参加し、呼び掛けを行なっていただきましたこと、今回はUnited Childrenのメンバーが輸血用血液の必要性を認識し、奉仕の心を持って我々と共に献血活動を行いましたことをご報告させていただきます。その結果、献血車1台にて100名の受付をしていただき、78名の方から献血をしていただきました。この数字はなかなか達成し得ない数字であると赤十字社の方から感謝の意の言葉を頂戴したことも併せて報告いたします。

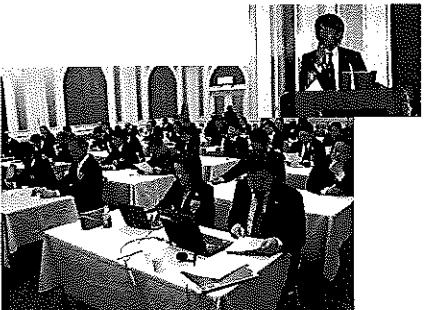


## はままつコンファレンス・冬の陣 | 1月27日(土)・28日(日) グランドホテル浜松にて

1月27日(土)～28日(日)と「はままつコンファレンス・冬の陣」と銘打ちまして入会希望者一泊オリテンとともにメンバー研修を実施いたしました。全体会を研修委員会がまとめ、部分部分を各グループ・各委員会で担当するという今まで無い形での研修が行われました。

総務グループによる「議案上程セミナー第2弾」、誇れる浜松発信委員会による「一泊オリテンンウルトラクイズ」では浜松の歴史を振り返り、浜松市役所企画課の鈴木氏をお招きしてのご講演は浜松の「シティープロモーション」について、また浜松JCに対して期待する情報が満載でした。グランドホテル浜松の鈴木支配人によるマナー研修では「おもてなしの心・気遣い」という面をから非常にヒントを得られるものであったと思います。2006年度全国大会運営会議の大和田議長をはじめとするスタッフをお招きしての対話集会や大和田議長のご講演についても、これから本番を迎えるまでの準備期間に考え方、やらなければならぬ基本方針が見えてきた事と思います。

最後に入会希望者研修も問調監事・田原先輩の講義や模擬議案作成、朝の訓練、公園清掃作業と中身の濃い研修をこなしていただき、最後のコメントも不安から期待にという力強いものが多く見受けられました。



## 3月22日(木)「マニフェスト型公開討論会」開催のお知らせ

来る4月8日(日)、統一地方選挙が予定されておりますが、浜松市は政令指定都市移行後初の浜松市長選挙が行われます。それに伴い(社)浜松青年会議所では立候補予定者をお招きしての「マニフェスト型公開討論会」を開催いたします。

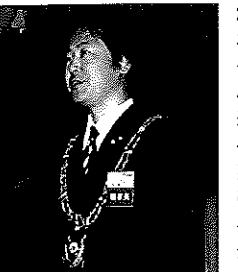
この討論会では立候補予定者の政策の争点を明確にすることにより、有権者の「政治意識の高揚」と「選択の明確化」を助けるために重要な討論会となります。今後の浜松市の運営をお任せする市長を選ぶにあたり、是非有権者の皆様自ら見て聞いていただきたいとご来場下さいよう宜しくお願い申し上げます。

(地域の力創造委員会 委員長 藤田将徳)

**【開催日】**2007年3月22日(木)  
**【時間】**18:30開場／19:00開会  
**【場所】**浜松福祉交流センター  
※入場は無料です。

## 2007年度 (社)浜松青年会議所の組織をご紹介します。～キャビネットごあいさつ～

社団法人 浜松青年会議所 第57期理事長 後藤 明



2007年浜松JCの「広報誌第1号」の発行に当たり、ご挨拶を申し上げます。本年は「愛するまち浜松を誇るにの美しさ現在を逞しき未来のために」を基本理念に、「誇る」と「逞しい」をキーワードに、一人でも多くの人にまちづくり、ひとづくりに関わっていただく、市民意識変革運動を展開してまいります。今の我々に足りないこと、欠けていることの一つに、自分が生まれた国や、地域のことを真に理解していない、知らないがために、自國や郷里を誇れないと言った事があると考えます。かく言う私も足りないと感じています。メンバーと一緒にになって、理解を深めていき、さらに地域の皆さんにも浜松を誇れる運動を展開してまいります。

そして、これから未来を生き抜いていく子どもたちには、逞しい力を身につけてほしいと思います。子どもたちを待っている未来は、明るい未来ばかりとは限りません。我々が子どもの頃、思い描いた「鉄腕アトム」のようなすばらしい未来はきたでしょうか。どんな未来が彼らを待っているかなんて誰にもわかりません。

そなれば、どんな未来が来ようと笑って過ごせる子どもを一人でも多く育てたい、逞しい力を創る運動をします。

そして来年、全国のJCメンバーが集まる「2008年第57回全国会員大会浜松大会」が開催されます。その準備もしっかりと進めてまいります。「やらないか」の精神で、JCの理念である「明るい豊かな社会」創造へ向けて、浜松JCは前進します。みなさまのご支援ご協力をお願いいたします。

副理事長 潑本 健司



本年度副理事長を務めさせて顶く、澁本健司と申します。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

担当する誇れる浜松創造グループは、浜松市民が自らの考えと行動を起こす事で誇りを取り戻し、「自分たちのまちは自分たちの手で」更には「この地域（浜松）から世界を変える」という意識や気概を呼び戻す一助となる運動を進めて参ります。具体的には、統一地方選挙に向けてのマニフェスト型公開討論会の開催、JCの各種大会での浜松の文化・歴史の発信、市民からの企画募集によるまちづくり事業の開催、を主な柱とし、浜松地域だけに留まらず全国そして世界へ我々市民の行動を発信していきます。それによって、来年2008年に浜松でのJCの全国大会を開催するにあたり、全国から約2万名のJCメンバーとその関係者がここを訪れたとき、浜松に自信と誇りを持ってお迎えできるよう、まずは我々浜松JCメンバーが今年一年先頭となって頑張って参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

副理事長 山田 清英



本年度、組織進化グループの担当副理事長を務めさせていただきます山田清英と申します。一年間よろしくお願い申し上げます。

組織進化グループは、浜松JCの価値を高める情報発信と組織連携の確立を目指し一年間活動してまいります。当グループの活動の多くは私たちの組織内向けのものが多いのですが、情報発信という活動を通して皆様と接する機会が多くなるかと思います。具体的には年4回の機関紙の発行・ホームページの運営です。機関紙においては、皆様にも関わっていただけるであろう浜松JCの運動などを中心に掲載させていただきます。また、ホームページにおいては、私たちの組織ならびに運動についての情報を皆様にもご理解いただけるようわかりやすい表現にて随時掲載させていただきます。このように、私たちから皆様への情報の発信というかたちで一年間市民意識変革運動に携わって参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

副理事長 津田 大資



本年度、逞しい力創造グループの担当副理事長を務めさせていただきます津田大資と申します。一年間よろしくお願い申し上げます。

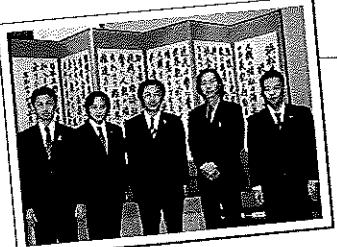
「逞しい」とは、からだが頑丈でいかにも強そうに見える、意思が強く多少の事ではくじけない、意気や勢いが満ち溢れている、目を見張るほど盛んであるという意味です。2007年度はこの「逞しい」をキーワードとして成長するための運動を未来の力創造委員会、研修委員会、青少年育成特別委員会の3委員会で行います。未来の力創造委員会では例年通りの「わんぱく相撲」「JC杯サッカー大会」の開催だけでなくUC(ユナイテッド・チルドレン)という学生のボランティア団体と協働事業を運営し、この浜松に必要な「逞しい」青少年を育成する為の事業を行います。研修委員会は我々青年会議所の新会員、現役会員が共にこの浜松に必要な「逞しい」地域人になるべく研修を行います。青少年育成特別委員会は「はままつ少年の船」を出航させボランティアと子供と青年会議所で作り上げる、この浜松に必要な「逞しい」民主導の教育実践の場を提供します。「逞しい」力創造グループは民主導の教育実践による未来の力を創造し、わがまち浜松を「逞しく」するべく運動します。

専務理事 武田 信孝

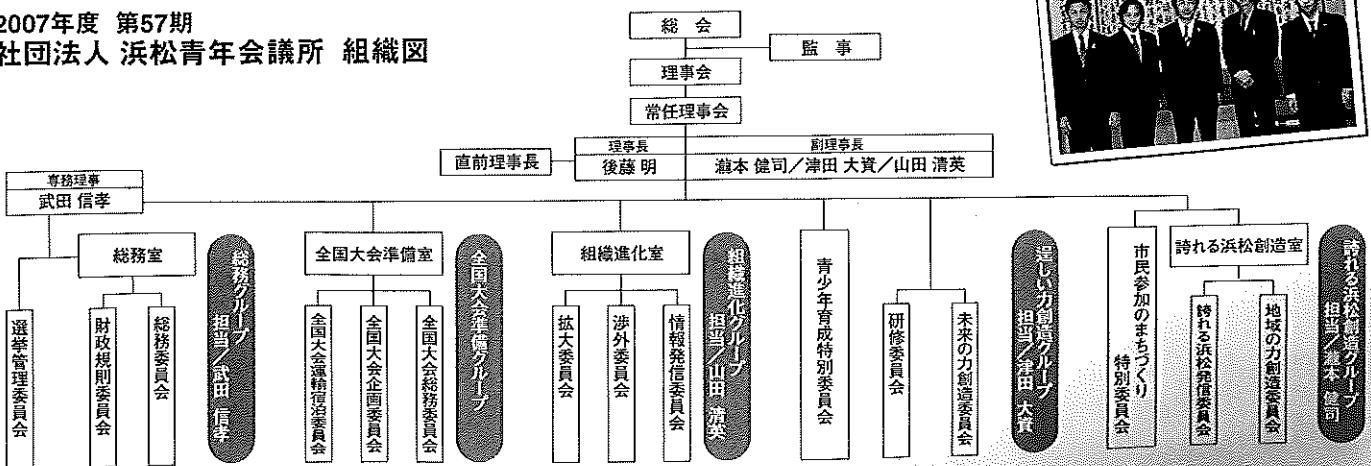


本年度、専務理事を務めさせていただきます武田信孝と申します。一年間よろしくお願い申し上げます。

浜松を誇り、逞しい力を養う市民意識変革運動の能動者として社団法人浜松青年会議所は積極的な運動展開を推し進めています。この大儀を果たす為に会員一人一人がその能力を十分に発揮出来る強固な組織に変革します。また、政令指定都市への移行や公益社団法人制度改革、来年行なわれる社団法人日本青年会議所第57回全国会員大会の主管青年会議所として、多くの市民や全国の青年会議所の会員からも注目される中、その重責に耐えるだけではなく、模範となる気概を持って信頼に応える組織運営を実践します。我々がその理念に掲げる「明るい豊かな社会」の創造は青年会議所の会員だけではあります。様々な運動を通して一人でも多くの方に共感していただけることが出来るよう誠心誠意邁進します。どうか皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



## 2007年度 第57期 社団法人 浜松青年会議所 組織図





いと思います。やはり有権者にとって投票する際の判断材料として候補者自身が意見を交わすことは大切なことですよ。

何より同じテーマについて候補者同士の考え方の違いを有権者が知ることができる。という機会は良い選舉にするために次こそとのできないものだと思いますね。

後藤 ありがとうございます。必ず成功させていきますのでよろしくお願いします。

次に浜松には、UC(ユナイテッド・チャーチ)という高校生を中心とした団体があり、浜松青年会議所も支援しておりますが、UCの存在と活動、そして全国に拡大していることを市長に知りたいことと、どのような子どもたちにエールを送つていただければと思います。

市長 UCの活動は設立当初から良く知っています。学校や家庭などに行動範囲を限られがちな高校生が、社会的な活動を始めようと思ったら、それも何もないところから始めたということを市長に知りたいと思います。

後藤 青少年の育成問題ですが、現代の「いじめ」「自殺」「犯罪の低年齢化」を市長個人としてどのようにとらえ、また「市長

業していますが、市民のイベント「冬の宴」にも最初からお手伝いに加わってくれました。その活動や精神が今も受け継がれていることを、これからも脈々と引き継がれて欲しいと思います。

後藤 青少年の育成問題ですが、現代の「いじめ」「自殺」「犯罪の低年齢化」を市長個人としてどのようにとらえ、また「市長

「浜松市」として、問題解決に向け今後どういったことが必要と考えておりますか?

市長 この問題は社会全体に広がる根本的な問題だと思います。根底にあるのは国民の価値観を見つめ直すことが大切だと私は思っています。価値観が物質的な私自身は思っています。価値観が物質的なものに偏っていると思いますが、世の中には大切なものがたくさんあるということを忘れないがになっていると思うんですね。例えば月を見て、「きれいだ」と思う心や文化味わえる心を持つ人が幸せだという価値を取り戻さなければ教育の方向性は変わらないと思います。大きな意味で教育というのは本来「人ひとりが幸せに生きていくための力を身に付けるものだ」と思っています。そこで行政として何をするか…それは教えないほどありますね。例えば公教育の部分を充実させていくことが求められます。授業ひとつとっても、分かりやすい面白い授業を開発することなどが挙げられると思います。

後藤 そうですね。本来は「いじめ」のない社会が理想ではありますが、残念なことに現実です。今年も出航する青年会議所の「少年の船」は「逞しい力」を身に付けるということを目的にします。「いじめ」にあたったとしても、それに負けない逞しい子どもを、我々大人が育てていかなければなりません

青少年育成に関連しますが、学校をとりまく環境の変化として、最近では給食費未納問題等、親の質の低下もあると思思います。行政、学校では出来ないこと等ありますが、行政として我々のような民間団体に青少年育成事業に対する要望や期待することはありますか?

理事長 後藤 明 (ごとうあきら)

● Profile  
昭和43年9月13日生まれ  
■略歴  
平成5年 三河リポート(株)入社  
平成11年 三河リポート(株)代表取締役就任  
平成11年 浜松JC 入会  
平成19年 浜松JC 第57期理事長  
■信条  
「平常心是道」



2007  
理事長  
対談  
コーナー  
Vol.1

# 新春 対談

今年4月に政令指定都市浜松市が誕生。  
活気づく浜松市の未来について  
対談していただきました。



# 新春 対談

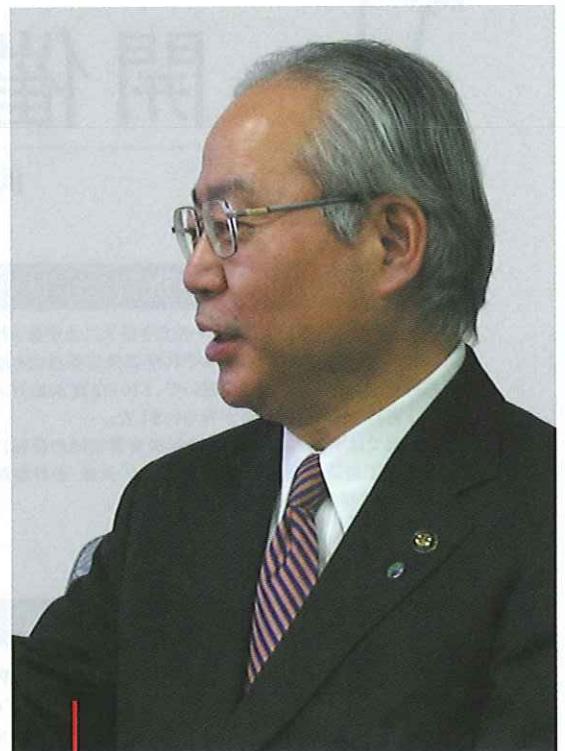
今年4月に政令指定都市浜松市が誕生。  
活気づく浜松市の未来について  
対談していただきました。

後藤 我々浜松青年会議所は、「明るい豊かな社会を築きあげる」という理念のもと、2007年は「まちづくり」「人づくり」という大きさは2つの軸で活動をしていきました。特に「まちづくり」については「まち、文化を創るのは市民(人づくり)」ということが一番大切なことだと考えていました。特に「まちづくり」については「まちづくり」「人づくり」という企業の説教、全体的な街のイメージ、まさに法律、条例等政策や市政といった面で転換期に来ていると思います。この転換期を企業市民、また行政も協力して乗り越えていかなければならぬ」この産業構造の転換期」というのは企業が世界的に競争力を保つための重要な戦略の中で、生産工場を一番良い場所で作りたいという思いはもちろん、大都市化しつつある浜松市の中では、土地利用や低賃金での労働力の確保に問題が生じているなど、あらゆる環境が変化しているということです。ですからそのことをまず認識し

市長 企業の工場の転出についてですが、ある意味で今浜松市は産業構造の新しい転換期に来ていると思います。この転換期を企業市民、また行政も協力して乗り越えていただきたいのが、この浜松は日本有数の工業都市ですが、大企業の工場等が浜松から転出しつつあり、待った無しの対応が迫られています。今、何からアクションを起こすべきお考えですか?

後藤 本日はお忙しい中ありがとうございます。どうぞよろしくお願ひします。

市長 よろしくお願ひします。



浜松市長 北脇 保之 (きたわきやすゆき)  
● Profile  
昭和27年1月12日生まれ  
■略歴  
昭和49年 4月 自治省入省  
平成7年 4月 自治省大臣官房参事官を経て退官  
平成8年10月 実績院議員当選  
平成11年 5月 浜松市長就任  
平成15年 4月 2期目当選  
■座右の銘  
諭語の言葉「匹夫も志を奪うべからざるなり」

市内の中小企業の競争力の強化のための産官連携策を検討しています。1つめの具体的策を検討しています。1つめの企業用地の確保については合併した浜松市の中でも特に第東名の引佐ICや浜北IC周辺などを開発することで、企業用地を確保し、旧浜松市にある企業の移転や、市外からの企業誘致を実現すること。それに加えて現在は厳しい土地利用について、制度が許す限りの規制緩和も進めたいと思っています。そして企業誘致や市内の企業の移転に対する助成金を大規模に用意することで、インバウトのある誘致策移転策を考えています。それから3つめの中小企業の競争力の強化についてですが、市内の中小企業の新技術や、新製品の開発などを産学官が連携して取り組んでいきたいと思っています。つまり意欲ある中小企業が、世界的な企業へと発展していくためのバックアップができる体制作りも重要なと思います。

市長 次に、政令指定都市になるにあたり、まちの顔となる駅前の活性化は重要だとおもいますが、その点についてはどのようにお考えですか?

後藤 私も浜松市に訪れた人に、最初に市を印象付ける駅周辺を魅力的にすることは今の浜松市の最重要課題だと考えております。まずは今、駅周辺の整備や区画整理による新しい街づくりなど着々と進めてきています。文化施設などを駅周辺の医療施設や、福祉施設などに組み合わせた複合施設を建設するなど、あらゆる環境が変化しているといふことです。ですからそのことをまず認識して、それに対する対処をしていかなければならぬと思っていて。もちろん現在浜松市にある企業に留まっていたときに、企業説教についても、他都市同様に転出していくかもしれません。

市長 そのための具体的策として行政では推進していく必要があります。

後藤 そのための具体的策としては行政ではどのような対応をお考えですか?

市長 それに対しては大まかに、企業説教、移転のための企業用地の確保、インセンティブとしての助成金や税金の優遇

市長 私も浜松市に訪れた人に、最初に市を印象付ける駅周辺を魅力的にすることは今の浜松市の最重要課題だと考えております。今まで浜松市としましては、道路整備や区画整理による新しい街づくりなど着々と進めてきています。文化施設などを駅周辺の医療施設や、福祉施設などに組み合わせた複合施設を建設するなど、あらゆる環境が変化しているといふことです。ですからそのことをまず認識して、それに対する対処をしていかなければならぬと思っていて。もちろん現在浜松市にある企業に留まっていたときに、企業説教についても、他都市同様に転出していくかもしれません。

市長 そのための具体的策として行政ではどのような対応をお考えですか?

後藤 それに対しては大まかに、企業説教、移転のための企業用地の確保、インセンティブとしての助成金や税金の優遇

# 後藤 明

すから、青年会議所としての目的はもちろんです。この機会に浜松の魅力を全国の人へ伝えたいと思います。

後藤 約1万5千人の方が訪れる大きな大会ですから、浜松市のPRはしっかりとしていきたいと思います。昨今の日本青年会議所は全國会員大会を、ただ単に全国の会員が集まるだけではなく、「市民意識改革運動」のきっかけ、市民の意識を変革して「まちを変えていかなければならない」という考え方になってきております。

後藤 我々は、このまちをここに住む将来の子どもたちのために、浜松青年会議所でなければならない運動を開拓して、より良い環境が生まれてくるのではないかと思います。本日はありがとうございました。



市長 そうですね。行政としてもしっかり協力していきます。ぜひ素晴らしい大会にしていきたいですね。

後藤 我々は、このまちをここに住む将来の子どもたちのために、浜松青年会議所でなければならない運動を開拓して、より良い環境が生まれてくるのではないかと思います。本日はありがとうございました。

市長 そうですね。行政としてもしっかり協力していきます。ぜひ素晴らしい大会にしていきたいですね。

後藤 我々は、このまちをここに住む将来の子どもたちのために、浜松青年会議所でなければならない運動を開拓して、より良い環境が生まれてくるのではないかと思います。本日はありがとうございました。



# 浜松JCは献血事業に協力しています!

今年度第1回目は1月8日に行われ100名の受付、78名の方に献血をして頂きました。誠にありがとうございました。献血はお申込みを頂きました方のご意思を優先し、献血によって体調を崩すことの無いよう、健康状態について慎重に確認した上で行っております。また成分献血・400ml献血にご協力いただいた方を対象に、血球計数検査を希望される方にお知らせしておりますので安心してご協力頂きたいと思います。献血のご協力には季節的な変動がありますが、医療機関で使用する血液の量は年間を通じて一定です。そのため一時的に血液が不足することがあります。次回は4月8日(日)に遠鉄百貨店東にて行う予定ですので、ご協力お願い申し上げます。

担当:拡大委員会委員長 高宮純也



献血にご協力  
おねがい  
しま~す!!



# 全国大会への道

2007年度(社)浜松青年会議所 1月度全国大会準備室委員会事業

去る1月27日に行われた全国大会準備室の第1回委員会事業が、(社)日本青年会議所から2006年度「全国大会運営会議(以下、「全運」)」の大和田佳典議長(水戸JC所属)以下4名のスタッフをお招きして開催されました。

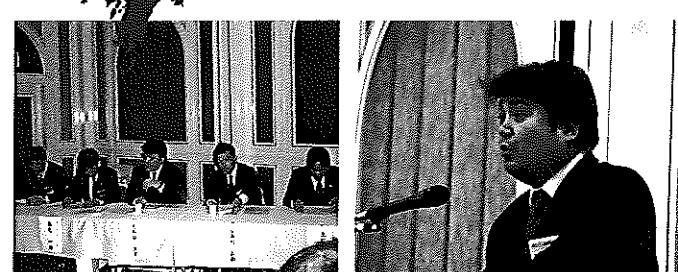
「全運」のメンバーは、言わば全国の青年会議所から集まる全国大会運営のプロフェッショナルな頭脳集団です。浜松JCは来年の大会開催まで、この「全運」のスタッフと共に協力し、また様々なご意見を頂きながら準備を進めていくことになります。

また、2004年度に開催された全国大会水戸大会で実行委員長、2006年度で「全運」議長を務められた大和田君からは多くの貴重な経験談やアドバイスをいただきました。

「全国大会を準備する過程において、青年会議所の会員はより率先して自ら行動できるようになり、その会員のスキルアップが青年会議所全体のボトムアップに繋がること。全国大会は普段のJC活動の集大成の場でもあり、しかしそれはまたJC活動の長い歴史の中での“通過点”であり、決してその達成感から無気力な状態に陥ることのないよう大会終了後のビジョンを明確にしておくことが挙げられました。

「夢なき者に計画なし、計画なき者に行動なし、行動なき者に成果なし、成果なき者に幸福なし…故に、夢なき者に幸福なし」

また、1万人以上の集客効果がある大規模なこの全国大会を開催することで、地域の市民や自治体や様々な活動団体が今まで以上に青年会議所の声に耳を傾けてくれるようになり、それはJCの若い行動力や特定組織からの縛りのない考え方などが、その後の様々

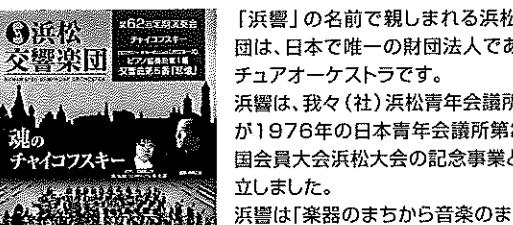


有識者会議などで必要とされるようになることなのです。

全国大会を開催するということは、むしろその開催後に、更に地域社会に貢献していくとする意思や行動を改めて宣言することなのかもしれません。開催後にこの浜松がすばらしい街になったと市民の方に感じて頂けるよう、浜松JCは活動していくべきだと思いました。

この言葉を肝に銘じ、私たち浜松JCは今後も地域のための全国大会の成功に向け全力で邁進していきます。

# 浜松交響楽団 第62回定期演奏会



「浜響」の名前で親しまれる浜松交響楽団は、日本で唯一の財団法人であるアマチュアオーケストラです。浜響は、我々(社)浜松青年会議所の先輩が1976年の日本青年会議所第25回全体会員大会浜松大会の記念事業として設立しました。

浜響は「楽器のまちから音楽のまち」へと発展をとげたこの浜松の地域文化の代表的存在であり、市民に愛されるオーケストラです。特に我々浜松JCと設立以来、毎年開催する「音楽を出前する」「移動オーケストラ教室」は子供たちから愛され親しまれ、社会から大きな評価を頂いております。その事業に対し「音楽のまちづくりの牽引者」として2000年にはサントリーワークス文化賞、2006年には創立30周年を迎え、第59回中日文化賞も受賞しました。

年2回のアクティティ大ホールでの定期演奏会も、来る3月18日(日)に第62回目を迎えます。この第62回の定期演奏会を今回浜響と浜松青年会議所の共催という形で開催をさせていただきます。

2008年には(社)浜松青年会議所として2回目の開催となる、第57回全体会員大会を控えた今、浜松市民の皆さんにこの誇り高い地域文化を発信していきますので皆様お説教合わせの上お越し下さい。

担当:誇れる浜松発信委員会委員長 上野 勲

## 第62回定期演奏会

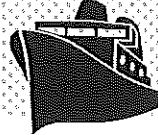
3月18日(日) アクトシティ浜松 大ホール

【開場】PM1:30 【開演】PM2:30

【入場料】指定席2,000円/自由席1,500円/学生自由席1,000円

●チケットは各プレイガイドへ

# 第34回 JC青年の船 とうかい号



洋上研修を通して、

- 自分自身を見つめ直し、
- 感動と共に分かち合える仲間たちと出会い、
- その出会いに感謝する心を育むことのできるとうかい号にひとりでも多くの青年にご乗船いただき広く募集活動を行っております。

研修委員会委員長 市川真之

【目的・基本方針】

それぞれの地域において将来を担う青年が地域社会・国際社会において今の時代に何をしていくべきか、そして何が出来るのか。第34回JC青年の船とうかい号は日常では経験しない洋上という限られた空間でのプログラムを通じ、相互の連帯を深め、経験の幅を広め、成長の為に努力する気付きと団体生活を通じて「人と人との繋がり」の重要性を再認識し地域社会・国際社会の中で活躍できる青年の育成を行います。

あなたは自分の故郷が好きですか…あなたは自分の暮らしている町が好きですか…便利さばかり追求し、隣人との付き合いや互いを想いあう気持ちが希薄になってきている今の時代が本当に切迫しているのです。多様な文化の中で生活をしている我々は決して1人では生きていけることが出来ません。文明だけの発展ではなく本当の意味で豊かな地域社会を創っていく為に今、必要とされているのは「人と人との繋がり」を通じて相手のことを思いやる「OMOYARI」の気持ちです。

第34回JC青年の船とうかい号は8日間という団体生活を通じ、より多くの人と繋がりを持ち共感することで自分を見つめ直し、新しい自分を見つめられるような船を皆さんと一緒に創り上げてまいります。そして団員同士が直にぶれあい、共感し、助け合うことでより深い絆を生み出し、その絆を胸に将来それぞれの地域において自分が可能にする「まちづくり・ひとづくり」に深く関わる気付きを持ち得ていただける船を目指してまいります。

多くの出会いと大きな感動、それは員員自身と永遠に続く人との繋がりだけが割れると信じます。

## 乗船者募集

お問い合わせ先

第34回JC青年の船

「とうかい号」浜松事務局

〒432-8036 浜松市東伊場

1-3-1 グランドホテル浜松内

TEL:054-454-6721

URL

<http://www.tokai-go.com>

E-mail

[room@hamamatsujc.jp](mailto:room@hamamatsujc.jp)

# 同志求む! 新会員募集

JCIは「まちづくり」「ひとづくり」に“一生懸命”取り組んでいます。  
自分の職場にきっと役立ちます!!

あなたを変える事が出来るのはあなたしかいません。

そこで何を学び、何を身に付けるのか?あなた次第です。

会社や家庭では出来ない経験があなたを待っています。我々と一緒に何かを変えませんか?

## JCってなに?

青年会議所は、活動の基本を「奉仕」「修練」「友情」に置き、会員は、「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理念としています。また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域社会の繁栄と平和に貢献することを目的としています。

## JC入会のメリット~JCに入会すると何が得られるの?

「仕事が忙しくて時間がない」と思っている方こそ入会によって得られるものは多いと言えます。社会人にとって時間コントロールほど難しいものはありません。自分は時間の使い方が上手なのか知り、さらに上手になるのは簡単な方法があります。それは自分よりも上手な人に出会い、一緒に活動して、学ぶことです。新たな自分の発見。良い影響を互いに与えあう人間関係。自分の仕事にフィードバックできる活動。そこのJCの良さがあります。

そのほかにも  
入会によって  
右記のようなことが  
得られます。

- ①地域の現状や未来について考えるようになります。
- ②地域で活躍している異業種の会員と交流できます。
- ③浜松だけでなく全国各地に友達の輪が広がります。
- ④指導力、自己表現力を身につけることができます。
- ⑤企業理念に役立つ組織運営を学ぶことができます。
- ⑥IT分野に強くなることができます。

## 入会要項

### 入会について

①青年会議所の目的と意義に共鳴し、自発的な

意思と情熱を持っていること

②浜松市及びその一円に居住する満20歳以上

40歳未満の品格のある者であること

③最低1回開かれる例会と委員会に出席できる

こと

④健全な社会人としての教養と良識のある方で

正常な事業に従事していること

### お問い合わせ先

(社)浜松青年会議所拡大委員会

TEL:053-454-6721 FAX:053-455-3563

E-mail:[room@hamamatsujc.jp](mailto:room@hamamatsujc.jp)

<http://www.hamamatsujc.jp/>

グルメ情報

メンバー紹介

## Hamamatsu JCひなば2007

イベント情報

etc...

浜松JCのメンバーをご紹介します。



こんにちは！

大場則利君

(株)YATAIコーポレーション  
浜松きん魚S53.4.14 28歳  
平成18年入会

落ち着いた店内で味わう、こだわりの味。

全国各地から選りすぐった食材をチリチリと七厘で焼く七厘焼きが人気メニュー。また幻の魚「イトウ」の刺身を食べることもできる。そのほか「海ぶどう」や「イラブチャーの刺身」などの沖縄料理、豊富な「古酒泡盛」の品揃えにも驚き。和洋折衷の凝ったインテリアの落ち着いた雰囲気でおいしい料理とお酒を。



創作七厘料理  
七厘屋台 きん魚  
浜松市東田町35-4  
アスモビル2・3F  
053-456-9585  
営／17:00～24:00  
休／月曜日定休



はじめまして！

落合広武君

落合自動車販売株式会社  
S46.5.2 35歳  
平成13年入会

よろしくお願い致します！

とびきりの笑顔でお迎えいたします！

こんにちは！平成13年度入会の落合です。お客様のカーライフアドバイザーとして、スズキ小型車ディーラー・新車中古車の販売・自動車の車検点検修理及び钣金・損保生保の募集を浜松市内7店舗にて展開しております。2月5日には、ワゴンR「ステイングレー」が誕生しました。是非お店に遊びに来て下さいね！



落合自動車販売  
株式会社  
浜松市葵東1-9-55(本社)  
053-436-2292  
営／9:00～18:00  
休／定休日なし

グルメ  
ハママツ今年もやります！  
グルメ探訪!編集チームは  
新・浜松市の  
グルメを求めて!!

何といっても、おすすめは“特製ちくわ”

ちくわのヤマサが浜松1号店となる「濱松でんでん」をオープンしました。店内は木で作られた上品で落ち着いた感じの和の空間。“おでん”を中心としたメニューを明るく親切なスタッフが提供してくれます。中でも目の前の炭火で焼く“特製ちくわ”は絶品。さすが「ちくわのヤマサ」です。アツアツおでんを突きながら大切な人とゆっくりとした時間を過ごしてはいかがですか？



濱松でんでん

- TEL 053-0944 浜松市田町330-22
- 営業時間／昼 11時30～14時00  
夜 17時30～24時00
- 休 日／日曜日(土・祝ランチなし)
- 電 話／053-413-6100
- 座席数／66席(カウンター14席  
個室風掘炬舎10卓 52席)

## 観光イベント情報

ちょっと遊びに  
いかまいか～

今回のテーマは「もうすぐ春！花満開！！」

いなざ桜まつり

引佐町内にて  
3月24日(土)～4月8日(日)

浜松城公園の桜

浜松城公園一帯  
3月下旬～4月上旬

西之谷公園の桜

西之谷公園(雄踏町)  
3月下旬～4月上旬

春の桜まつり&amp;

チューリップフェア  
はまつフラワーパーク  
3月24日(土)～4月15日(日)

ミヤマツツジと桜

不動寺(旧浜北市)  
4月上旬

三ヶ日桜

乎那の峯-おなのみね(三ヶ日町)  
4月上旬～中旬

岩水寺の桜

岩水寺(旧浜北市)  
4月上旬

龜崎ファミリーランドの桜

雄踏総合公園(雄踏町)  
4月上旬

梅 2月中旬～3月中旬

チューリップ 3月下旬～4月中旬

アーモンドの花 3月中旬～下旬

みずほしょう 3月下旬～4月上旬

菜の花 3月下旬～4月上旬

りんごの花 4月中旬

ぼたん 4月中旬～5月上旬

つつじ 4月中旬～5月中旬

フラワーパーク・フルーツパークをはじめ、浜松市内の各地で様々な花を見ることができます。

2007年第1号となる「春号」はいかがでしたでしょうか？後藤理事長をはじめとする新体制の元、私たち情報発信委員会では(社)浜松青年会議所の2007年度ならではの新企画事業や以前から継続しているお馴染みの事業、2008年10月に控えている全国会員大会浜松大会の話題等、盛りだくさんの活動、運動を1人でも多くの市民の皆様に知っていただきご理解・ご賛同いただけるよう、年4回の予定で“HAMAMATSU JC WAVE”を発行してまいります。しかし季節毎となりますので、全てをお伝えできないかもしれません。並行してホームページを開設し、WEB上ではリアルタイムな活動報告・市民の皆様にご参加いただきたい各事業の告知・募集も行なっていますのでこちらの方もぜひご覧下さい。(www.hamamatsujc.jp) 最後になりますが、本紙を発行するに当たりJC活動に多大なご理解とご協力を示していただいております北臨保之浜松市長様をはじめとするご協力をいただきました全ての皆様方に御礼申し上げます。次号以降も頑張って編集・発行して参りますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。(情報発信委員会 委員長 江間徹士)